



## 第 9 回 東京エリア Debian 勉強会 事前資料

Debian 勉強会会場係 上川純一\*

2005 年 10 月 15 日

---

\* Debian Project Official Developer

## 目次

1	Introduction To Debian 勉強会	2
1.1	講師紹介 . . . . .	2
1.2	事前課題紹介 . . . . .	2
2	Debian Weekly News trivia quiz	3
2.1	2005 年 37 号 . . . . .	3
2.2	2005 年 38 号 . . . . .	5
2.3	2005 年 39 号 . . . . .	7
2.4	2005 年 40 号 . . . . .	9
2.5	2005 年 41 号 . . . . .	11
2.6	2005 年 42 号 . . . . .	13
3	最近の Debian 関連のミーティング報告	16
3.1	東京エリア Debian 勉強会 8 回目報告 . . . . .	16
4	apt-listbugs	17
5	debbugs の内部構造	18
5.1	はじめに . . . . .	18
5.2	データ形式 . . . . .	18
5.3	コード形式 . . . . .	18
5.4	そして何がおきたか . . . . .	18
6	次回	19

## 1 Introduction To Debian 勉強会

上川純一



今月の Debian 勉強会へようこそ．これから Debian のあやしい世界に入るといふ方も，すでにどっぷりとつかっているといふ方も，月に一回 Debian について語りませんか？

目的として下記の二つを考えています．

- メールではよみとれない，もしくはよみとってられないような情報を情報共有する場をつくる
- まとまっていない Debian を利用する際の情報をまとめて，ある程度の塊として出してみる

また，東京には Linux の勉強会はたくさんありますので，Debian に限定した勉強会にします．Linux の基本的な利用方法などが知りたい方は，他でがんばってください．Debian の勉強会ということで究極的には参加者全員が Debian Package をがりがりと作りながらスーパーハッカーになれるような姿を妄想しています．

Debian をこれからどうするといふ能動的な展開への土台としての空間を提供し，情報の共有をしたい，というのが目的です．今回は違うこと言ってるかもしれませんが，御容赦を．

### 1.1 講師紹介

- 謎の講師 apt-listbugs を開発した人です．
- 上川純一 宴会の幹事です．

### 1.2 事前課題紹介

今回の事前課題は「Debian のバグシステムに物申す」というタイトルで 200-800 文字程度の文章を書いてください．というものでした．その課題に対して下記の内容を提出いただきました．

#### 1.2.1

#### 1.2.2 上川

あとで埋める予定．

## 2 Debian Weekly News trivia quiz

上川純一



ところで、Debian Weekly News (DWN) は読んでいますか？Debian 界隈でおきていることについて書いている Debian Weekly News. 毎回読んでいるといろいろと分かって来ますが、一人で読んでいても、解説が少ないので、意味がわからないところもあるかも知れません．みんなで DWN を読んでみましょう．

漫然と読むだけではおもしろくないので、DWN の記事から出題した以下の質問にこたえてみてください．後で内容は解説します．

### 2.1 2005 年 37 号

2005 年 9 月 13 日?です．

問題 1.

- A
- B
- C

問題 2.

- A
- B
- C

問題 3.

- A
- B
- C

問題 4.

- A
- B
- C

問題 5.

- A
- B
- C

問題 6.

- A
- B
- C

問題 7.

- A
- B
- C

問題 8.

- A
- B
- C

問題 9.

- A
- B
- C

問題 10.

- A
- B
- C

問題 11.

- A
- B
- C

問題 12.

- A
- B
- C

問題 13.

- A
- B
- C

問題 14.

- A
- B
- C

問題 15.

- A
- B
- C

問題 16.

- A
- B
- C

問題 17.

- A
- B
- C

問題 18.

- A
- B
- C

## 2.2 2005 年 38 号

2005 年 9 月 13 日?です .

問題 19.

- A
- B
- C

問題 20.

- A
- B
- C

問題 21.

- A
- B
- C

問題 22.

- A
- B
- C

問題 23.

- A
- B
- C

問題 24.

- A
- B
- C

問題 25.

- A
- B
- C

問題 26.

- A
- B
- C

問題 27.

- A
- B
- C

問題 28.

- A
- B
- C

問題 29.

- A
- B
- C

問題 30.

- A
- B
- C

問題 31.

- A
- B
- C

問題 32.

- A
- B
- C

問題 33.

- A
- B
- C

問題 34.

- A
- B
- C

問題 35.

- A
- B
- C

問題 36.

- A
- B
- C

## 2.3 2005 年 39 号

2005 年 9 月 20 日?です .

問題 37.

- A
- B
- C

問題 38.

- A
- B
- C

問題 39.

- A
- B
- C

問題 40.

- A
- B
- C



問題 41.

- A
- B
- C

問題 42.

- A
- B
- C

問題 43.

- A
- B
- C

問題 44.

- A
- B
- C

問題 45.

- A
- B
- C

問題 46.

- A
- B
- C

問題 47.

- A
- B
- C

問題 48.

- A
- B
- C

問題 49.

- A
- B
- C

問題 50.

- A
- B
- C

問題 51.

- A
- B
- C

問題 52.

- A
- B
- C

問題 53.

- A
- B
- C

問題 54.

- A
- B
- C

## 2.4 2005 年 40 号

2005 年 9 月 27 日?です .

問題 55.

- A
- B
- C

問題 56.

- A
- B
- C

問題 57.

- A
- B
- C

問題 58.

- A
- B
- C

問題 59.

- A
- B
- C

問題 60.

- A
- B
- C

問題 61.

- A
- B
- C

問題 62.

- A
- B
- C

問題 63.

- A
- B
- C

問題 64.

- A
- B
- C

問題 65.

- A
- B
- C

問題 66.

- A
- B
- C

問題 67.

- A
- B
- C

問題 68.

- A
- B
- C

問題 69.

- A
- B
- C

問題 70.

- A
- B
- C

問題 71.

- A
- B
- C

問題 72.

- A
- B
- C

## 2.5 2005 年 41 号

2005 年 10 月 4 日?です .

問題 73.

- A
- B
- C

問題 74.

- A
- B
- C

問題 75.

- A
- B
- C

問題 76.

- A
- B
- C

問題 77.

- A
- B
- C

問題 78.

- A
- B
- C

問題 79.

- A
- B
- C

問題 80.

- A
- B
- C

問題 81.

- A
- B
- C

問題 82.

- A
- B
- C

問題 83.

- A
- B
- C

問題 84.

- A
- B
- C

問題 85.

- A
- B
- C

問題 86.

- A
- B
- C

問題 87.

- A
- B
- C

問題 88.

- A
- B
- C

問題 89.

- A
- B
- C

問題 90.

- A
- B
- C

## 2.6 2005 年 42 号

2005 年 10 月 11 日?です .

問題 91.

- A
- B
- C

問題 92.

- A
- B
- C

問題 93.

- A
- B
- C

問題 94.

- A
- B
- C

問題 95.

- A
- B
- C

問題 96.

- A
- B
- C

問題 97.

- A
- B
- C

問題 98.

- A
- B
- C

問題 99.

- A
- B
- C

問題 100.

- A
- B
- C

問題 101.

- A
- B
- C

問題 102.

- A
- B
- C

問題 103.

- A
- B
- C

問題 104.

- A
- B
- C

問題 105.

- A
- B
- C

問題 106.

- A
- B
- C

問題 107.

- A
- B
- C

問題 108.

- A
- B
- C



### 3 最近の Debian 関連のミーティング報告

上川純一



---

#### 3.1 東京エリア Debian 勉強会 8 回目報告

前回開催した第 8 回目の勉強会の報告をします。

## 4 apt-listbugs

たるさん?



## 5 debbugs の内部構造

上川



### 5.1 はじめに

この文書は Anthony Towns が フィンランドの debconf 5 で発表した内容を日本にて展開するための資料です。

Debian Bug Tracking System (BTS) は、ほぼ Debian に特化したバグ報告の管理のためのシステムです。他のプロジェクトでも利用されていることもありますが、Debian でバグがパッケージベースで厳格に分類できることなどの特性が反映されているため、Debian プロジェクトでいちばんつかいやすいように作られています。

Debian のインフラと統合されており、changelog にバグ番号を記述してパッケージをアップロードしたらバグが修正されたと認識されるようになっていたりします。

規模としては、55000 以上の現在アクティブなバグ報告、231000 アーカイブされたバグ報告を現在保持していて、毎週 1000 以上の新規のバグ報告が追加されています。ウェブインタフェースはすぐに追加された報告を反映しており、過去、ダウンタイムもほとんど発生していません。

Anthony Towns によると下記が要件です。

- インタフェース： 開発者がメールで操作できるようになっており、誰でもウェブで閲覧できるようになっている。
- パッケージベース： バグ報告をパッケージ別に高速に管理する必要がある
- スケーラビリティ： 大量のバグ報告に対応できる必要がある
- 即時性： 現在のバグの状態をすぐに報告してくれる必要があり、バグの状態が変更されたらすぐに反映される必要がある
- 安定性： 継続して動作する必要がある。新規の機能がどんどん追加されたとしても。
- 公開： 議論の内容に Debian コミュニティ全体として参加できるように、永続的な公開記録として保存される必要がある。

### 5.2 データ形式

### 5.3 コード形式

### 5.4 そして何がおきたか

## 6 次回



---

関西出張会議を 10 月 29 日に実施する予定です。

また、東京での次回は 11 月 12 日土曜日の夜を予定しています。内容は本日決定予定です。

参加者募集はまた後程。